

kagoshima local network

みなみネット@鹿児島都市圏



頑張れ日本! 桜島から エール届け

3中学校92人が合同交流会

サッカー
W杯
ロシア大会

サッカーワールドカップ(W杯)ロシア大会の日本初戦となった19日、かつてのサッカー王国・桜島であった中学校合同の交流学習会では、生徒たちがド

ラムをたたきながら「頑張れ日本」とエールを送った。

桜島中は、元日本代表の遠藤保仁選手や岩下敬輔選手の出身校。玄関には遠藤選手の日本代表時代のユニホームやサインなどが飾られている。

交流学習は同校に黒神中、東桜島中の生徒が集まって実施され、92人が授業や給食を共にして絆を深めた。

最後は体育館でドラムを体験。指導した森田孝一郎さん(右)鹿兒島市は「日本が勝ちますように。みんな気持ちを一に」と

呼び掛け、生徒たちのたくどラムの音、日本チームを応援する声が響いた。

桜島中3年で、サッカー部副キャプテンの井手信介さんは「部員は少ないが、桜島の名を汚さないよう努力したい。日本代表には1勝1分け1敗で予選を勝ってほしい」。遠藤選手ら偉大な先輩を出した桜島から「ハッピー・エンドウ」を期待した。(永井貴士)



①ドラムをたたきながら、「頑張れ日本」と声を一つにする桜島の中学生ら②OBで、サッカー元日本代表の遠藤保仁選手らのコーナー

19日、鹿児島市の桜島中学校

課題4商

鹿児島市は地元企業とデザイナーが連携し、商品の魅力アップを目指す「かごしまデザインアワード」の2018年度の企業課題4点を決めた。それぞれのテーマに合ったデザインを募集している。

課題は①城山ホテル鹿児島